

～町田国際交流センターだより～

まちだdeトークプラザ

～日本で働く外国人～ part2 開催



2月11日（日・祝）、町田市生涯学習センター7階ホールにて、町田市生涯学習センターと町田国際交流センターの共催イベント「まちだdeトークプラザ～日本で働く外国人～part2～」を開催しました。

イベントは三部構成で、第一部ではヌサンタラインドネシア舞踊とバリ舞踊でした。インドネシアの民族衣装は煌びやかで、華麗に踊る姿に目が離せませんでした。会場の皆さんも一緒にステージに上がり、楽しんで踊っている姿がとても印象的でした。

第二部では日本で働くインドネシア、中国、ベトナム出身の3名にパネリストとして登壇していただきました。3名のパネリストの方々は日本語で一生懸命説明をされて、外国人が日本で働くことの大変さを改めて実感する機会となりました。

第三部では、3名のパネリストの方々と参加者とのグループ交流会です。47名の参加者はパネリストの母国の事や、日本で仕事をするきっかけ等興味を持った事について積極的に質問され、時間いっぱいまで、パネリストとお話しを続けて和気あいあいと無事に終了いたしました。

アンケートにもこれからもこのようなイベントを希望しているとの声もありました。国際理解・協力部会でも今後より良い内容になるように努力してまいります。

国際理解・協力部会 森本 愛理



ぼろんていえ

Volontiers! の由来：誘われたとき、頼まれたとき「喜んで！」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで



日本語学習支援ボランティア 基礎講座

今年度の日本語学習支援ボランティア基礎講座を1月9日(火)から2月27日(火)まで計8回で開催しました。抽選で選ばれた27名の受講者が一人の脱落者もなく、全員が最終回に修了証を受け取りました。久しぶりの対面講座で、受講者同士のコミュニケーションも活発でした。1回目は国際日本語普及協会(AJALT)の松尾恭子先生にお願いしました。地域日本語教室とはどんなところなのか、学習者は何を求めているのかなどのお話の後、ほとんど話せない学習者にどのように支援していくかの実践例を動画で見ることで、具体的な支援方法などを学びました。いろいろな気づきがあったようで考えを変えていく受講者もいました。外国人学習者が知りたいことは何なのか、実際の生活で使う日本語や言葉以外の習慣などをやさしく伝えることが必要だとわかりました。



2回目以降も地域日本語教室での支援の方法などを具体的に学びました。受講者同士の話し合いの時間も多く、支援の方法などを自分たちで考えていくことができました。

講座を修了し、多くの方がボランティアに参加します。いろいろな経験を積んで活躍していただけることを期待しています。

地域日本語コーディネーター 荒明 美奈子

「やさしい日本語」ワークショップ

3月14日(木)、「やさしい日本語」ワークショップを「町田やさしい日本語の会」の協力の下、市民フォーラム多目的室にて開催し、地域の日本語支援ボランティアを中心に15名が参加しました。

参加者は「やさしい日本語」という言葉は聞いたことがあるものの、実際にどんな場面でのどのように使えばよいかのわからないという方も多く、講師から能登半島地震のニュースの中で「やさしい日本語」での呼びかけがあったことや、実際に被災した外国人のインタビュー動画が紹介されると、身を乗り出して聞き入っていました。

今回は日本語初級者の外国人Nさんも参加しました。災害時に使われる日本語をわかりやすく書き換えるワークの際には、Nさんに確かめながら進めるグループもありました。最初は「むずかしい。わからない。」と首をかしげていたNさんでしたが、最後には「この日本語はわかります!」と満面の笑顔。参加者も皆笑顔になりました。

参加者からは「いつも見慣れている表現をやさしく言い換えるのは想像以上に難しかった」「困っている外国人に積極的に話しかけたい」などの感想があり、コミュニケーションの手段としての「やさしい日本語」への理解も一段と深まったようでした。

広報部会 岡村 眞理



外国人のためのリレー専門家相談会

3月10日(日)「外国人のためのリレー専門家相談会」を開催しました。

この相談会の特徴は在留外国人の方々が、法律相談(在留資格、国際結婚／離婚など)や健康保険、雇用保険、年金、子育てや教育などの悩みや問題を弁護士、行政書士などの専門家に無料で相談できることです。また英語や中国語、フランス語、スペイン語などのボランティア通訳も用意しており、母国語で安心して相談することができます。

今回は12件の相談があり、それぞれの問題に対応できる専門家が具体的な助言を行い、相談者からも大変喜ばれました。各専門家も外国人への対応経験が豊富で、相談内容に応じた適切な助言を行うことができました。

ボランティアとして参加する私たちも少しばかりの緊張感を持ちながら、同相談会の運営や通訳などに関わりました。外国人の抱える問題や専門家の助言を直接知ることができ、学ぶことの多い、充実した1日を過ごしました。

コロナ禍で一時減った相談者数も、最近徐々に増加していますが、専門家に直接聞くことができる同相談会の存在を在留外国人コミュニティに広め、多くの外国人に活用してもらうことを望みます。

外国人相談部会 小泉 美保



その他のイベント

日にち	イベント名	部会
2月28日(水)	チラシ作成講座	広報部会
3月2日(土)	外国人の子どもと家族のための 小学校入学準備説明会	子ども教室部会 (協力：地域日本語コーディネーター)
3月9日(土)	お楽しみ会	子ども教室部会
3月12日(火)	日本語教室ブラッシュアップ講座	日本語教室部会

編集後記

春から初夏へ移り変わる季節。武者人形や色彩豊かな鯉のぼりが空を泳いだゴールデンウィークも終わり、近郊の丘や山々も一雨ごとに緑を濃くし、私たちにとって過ごしやすい季節がやってきました。毎日が寒くもなく暑すぎもせず、梅雨の前に五月晴れの青空を楽しみたいものです。町田国際交流センターも、今月から今年度の様々な国の語学講座も始まり、また、多くのボランティアでロビーが賑わっています。皆さんが持っている様々なスキルが、今年度も外国から日本に来られて困っている人々に対して生かされることを願っています。

日本の家庭料理を一緒に作りましょう

コロナ禍の中で料理教室の中止が3年続きましたが、ようやく2月12日(月・祝)開催が決まり、交流部会にも活気が戻ってきました。料理教室は、市民フォーラム3階調理室です。参加者は外国人15名、交流部会員13名の総勢28名で、当日のメニューは豚汁、卵焼き、いなり寿司に加えて、今回は新しい試みとして、男性5名でデザートのお汁粉を担当しました。和英2か国語のレシピを準備、そして時間の短縮を考え調理デモンストラーションは口頭のみといたしました。和英2か国語レシピと各料理担当の説明は、とても分かりやすく好評でした。

調理後の食事中は、心を込めて作った料理に会話も弾み「お代わりした」「味噌汁より豚汁が好き」「卵焼きはやはり難しい」「絶対に家で作ります」「いなり寿司の酢飯の詰め方が難しかった」「甘い餅入りお汁粉がおいしかった」等、嬉しい感想が聞こえてきました。賑やかで弾んだ会話、そしてスムーズに運んだ調理は、すべて部会員による参加者への心遣い、気遣いの賜物と思っています。

気が付けば、あっという間に終了の時間、皆さんをお見送りする際、次回もまた参加するとの何よりのご挨拶をいただき、明るい笑顔でのお別れにホッとしました。ご協力くださった皆様、本当に有難うございました。

国際交流部会 渡邊 洋子

